

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-191752

(43)Date of publication of application : 12.07.1994

(51)Int.Cl.

B66B 3/00

(21)Application number : 04-345960

(71)Applicant : HITACHI LTD  
HITACHI ELEVATOR ENG CO LTD

(22)Date of filing : 25.12.1992

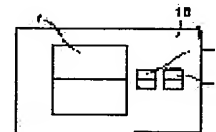
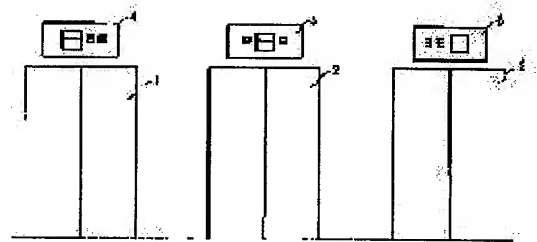
(72)Inventor : KONO SHUICHI  
TERANISHI KATSUYA

## (54) ARRIVAL DISPLAY DEVICE FOR ELEVATOR

## (57)Abstract:

PURPOSE: To ride in an elevator with sufficient time even when having a large and heavy baggage by eliminating inconvenience such as confusedly moving to the front of the other elevator when it arrives.

CONSTITUTION: Arrival display lamps 7 through 9 are arranged to be matched with layout of an elevator, and the arrival display lamp 7 corresponding to an elevator 1 is displayed larger than the other arrival display lamp, to light the display lamp corresponding to this elevator 1 when it arrives.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-191752

(43)公開日 平成 6 年(1994) 7 月12日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

B 6 6 B 3/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 7633-3F

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-345960

(22)出願日 平成 4 年(1992)12月25日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

(71)出願人 000232944

日立エレベータエンジニアリング株式会社

茨城県勝田市堀口832番地の 2

(72)発明者 河野 修一

茨城県勝田市堀口832番地の 2 日立エレ

ベータエンジニアリング株式会社内

(72)発明者 寺西 勝也

茨城県勝田市堀口832番地の 2 日立エレ

ベータエンジニアリング株式会社内

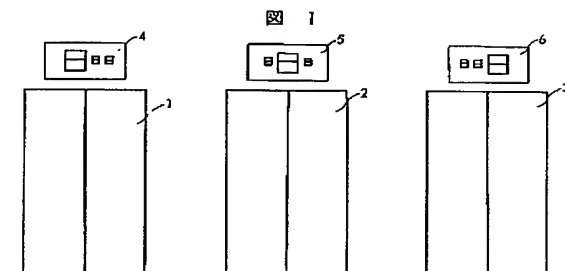
(74)代理人 弁理士 小川 勝男

(54)【発明の名称】 エレベータの到着表示装置

(57)【要約】

【構成】到着表示ランプ 7 ないし 9 をエレベータのレイアウトに合わせ、配列し、エレベータ 1 に対応する到着表示ランプ 7 を他の到着表示ランプより大きくして表示し、エレベータが到着する時、そのエレベータに対応する表示ランプを点灯させる。

【効果】他のエレベータが到着した時、あわててそのエレベータの前に移動するという不都合がなくなり、大きな荷物や重い荷物を持っても、余裕を持ってエレベータに乗ることができる。又耳の遠い、動作反応のおそい高齢者にも使いやすくなる。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】エレベータの到着表示と、他のエレベータの到着表示を、一つの表示装置で表示するようにしたことを特徴とするエレベータの到着表示装置。

【請求項2】請求項1において、前記エレベータの到着表示を大きく、他のエレベータの到着表示を小さく表示するエレベータの到着表示装置。

【請求項3】請求項2において、前記エレベータの配置と表示の配列を対応させたエレベータ表示装置。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】本発明はエレベータの到着表示装置に関する。

**【0002】**

【従来の技術】これまでのエレベータの到着表示装置は、例えば、実開昭49-68659号公報のように取付けられた、エレベータの到着を表示するのみであり、他のエレベータの到着表示を行わなかった。その為、他のエレベータの到着表示装置にも常に注意をはらっていないと、乗り遅れるなどの不具合があった。

**【0003】**

【発明が解決しようとする課題】これまでの到着表示装置は、エレベータの到着しか表示しなかった。到着時、音で知らせているが、騒音で聞きとりにくい時や、高齢者等、耳の遠い人の場合、気付くのが遅れ、到着するエレベータの前へ行けなくて、乗り遅れることがあった。又、大きな荷物を持っている時、時間的に余裕がないと、到着するエレベータの前へ移動するのが大変であった。

**【0004】**

【課題を解決するための手段】エレベータの到着表示と、他のエレベータの到着表示を大小、大きさの異なるランプを用いるなどにより、一つの到着表示装置の中に表示することにより、乗客は、エレベータの到着表示装置を見ながら、他のエレベータの到着確認が可能となる。

**【0005】**

【作用】本発明による、到着表示装置は、他のエレベータの到着確認ができる為、乗客は、事前に待機準備態勢に入れるから、エレベータが到着後、慌てて移動するような不都合を解消することができる。

**【0006】**

【実施例】以下、図によって本発明の実施例を説明する。

【0007】図1は、エレベータホールのエレベータ配列の正面図を示し、1はエレベータ左側ドア、2は中央エレベータドア、3は右側エレベータドア、4は左側エレベータの到着表示装置、5は中央エレベータの到着表示装置、6は右側エレベータの到着表示装置である。図2は左側エレベータ到着表示装置の正面図を示し、7は

エレベータ1の到着表示ランプ、8は他のエレベータ2の到着表示ランプ、9は他のエレベータ3の到着表示ランプで、10は表示ランプの取付け板である。7～9の到着表示ランプは、エレベータの配置に合わせて配列し、エレベータ1に対応する到着表示ランプ7を他の到着表示ランプより大きくし、取付け板10に固定する。

【0008】例えば、エレベータ1に対応する表示装置4において、エレベータ1が到着したとき、大きな表示ランプ7が点灯し、エレベータの到着を知らせ、又、他のエレベータ例えばエレベータ3が到着したときは、表示装置4の表示ランプ9が、点灯する。

【0009】このような構成によって、今エレベータ1の前に立って待機する乗客に対し、大きなランプ7が点灯すれば、エレベータが到着することが判るからそのまま待って乗り込めばよく、又、ランプ8が点灯すれば、エレベータ2が到着することを判別できるから、エレベータ1の前にいる乗客は、エレベータ2の正面へ移動すれば、エレベータ到着後慌てて移動するというような不都合を解消できることになる。

【0010】図3は、他の実施例を示し、エレベータ到着表示と、他のエレベータ到着表示を一つの表示範囲内に組込んだ例である。11はエレベータの昇り方向の到着表示部、12は、エレベータの下り方向の到着表示部、13は他のエレベータの昇り方向の到着表示部、14は他のエレベータの下り方向の到着表示部で、他のエレベータが到着する時は、他のエレベータの到着表示部13、14が点灯する。要するに、本発明はエレベータの到着と他のエレベータ到着の表示を、大小大きさの異なるランプ表示の組み合わせにより待合客に判別できるようにするものである。

**【0011】**

【発明の効果】本発明によれば、エレベータの到着装置の表示ランプを見るだけで、到着エレベータがわかるため、到着後あわてて到着したエレベータの前に移動するという不都合がなくなる。そのため、大きな荷物や重い荷物を持っていても、余裕を持ってエレベータに乗ることができる。今後、高齢化社会を向えるにあたって、耳の遠い人、動作反応のおそい高齢者にも、より、サービスの向上を図ることが可能となる。

**【図面の簡単な説明】**

【図1】エレベータホールのエレベータ配列の正面図。

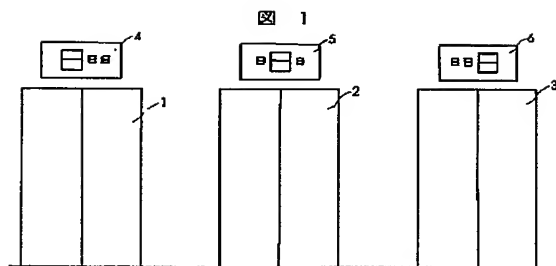
【図2】図1の左側エレベータ到着表示装置の正面図。

【図3】エレベータ到着表示装置の他の実施例の正面図。

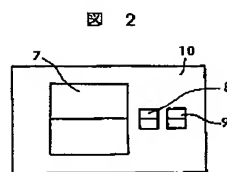
**【符号の説明】**

1…左側エレベータドア、2…中央エレベータドア、3…右側エレベータドア、4…左側エレベータの到着表示装置、5…中央エレベータの到着表示装置、6…右側エレベータの到着表示装置。

【図1】



【図2】



【図3】

